



## つくば 歳時記

第10回つくば市100本のクリスマスツリーの点灯式・前夜祭が12月9日につくばセンター広場で行われた。地元聖歌隊によるコンサートなどが催され、多くの家族連れなどが訪れた(撮影・関田航二 体育専門学群)

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。



つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

つくば市は、今年20周年を迎える。市制20周年を前に、市役所では「つくば市20周年」をテーマにした展示が行われている。展示には、つくば市の歴史や文化、そして未来への展望が紹介されている。また、市内各地では、さまざまなイベントが開催されている。市民は、この特別な日を心待ちにしている。

# 図書館に喫茶設置

設置場所は中央図書館エントランスホールにあった。喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

喫茶設置の目的の一つは、図書館利用者減少に対する増加効果の期待だ。ことによると、新聞閲覧のついでに図書も利用してもらえるという。エントランスホールに新聞閲覧スペースを設けた。しかし、図書は入ったところの右手に移動

中央図書館エントランスホールに設置されるコーヒー喫茶の委託業者が、12月5日、厚生会理事会で承認された。委託業者はスターバックスコーヒー(本社「東京・渋谷区」)で、来年3月上旬のオープンを予定している。全国の大学では、附属病院などにコーヒー専門店が出店している例や横浜国立大学の附属図書館に生協が運営する喫茶はあるが、附属図書館に専門店が設置されるのは、本学が初めて。

# 筑波大学新聞

第266号

編集責任

筑波大学新聞

編集委員会

委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040・6699

E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

月刊

発行所  
筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

## 紙面から

「芸術」が共通科目に	2
総合造形「不審者、ノック13回」上演	5
サッカー 窮地脱出し一部残留	8
ハンド全日本学生 女子接戦制し2連覇	9
第三エリア食堂 5カ月ぶりに再開	10
ホットスパ 追越・平砂から撤退	11
特集 障害を 知る 助ける 共に生きる	6,7
ミニ特集	3
医療・語学・法律・国際……	
自主研究会に迫る	

## つくばマラソン 史上最多、1万3308人

本学職員の高橋雅一さん優勝

市、読売新聞などが11月25日、本学陸上競技場をメイン会場に行われた。好天の中、史上最多となる1万3308人のランナーが汗を流した。男子フルマラソンの部では、本学職員の高橋雅一さん(東京陸教・33)が2時間25分01秒のタイムで優勝した。(12面に関連記事)



一斉にスタートを切った(本学西ループで)

を走ったメクボ・J・モクス選手(山梨学院大)らが参加した。フルマラソン男子の部では高橋さんが、女子の部では翔ひろ子さん(千葉県佐倉市陸協)が2時間42分21秒でそれぞれ優勝した。翔さんは4連覇を果たした。

参加した本生の中では陸上競技部の今木一充さん(自然4年)が2時間33分28秒で10位が最高。今木さんは「4年生で大学生活の集大成として出場した。初

## 筑波おろし

暦の初午の後、北関東方面の伝統料理「すみつけ」を作ろうという。今では一部でしか作らないが、粗くおろした大根おろしと人参などを煮て、しょうゆや酢を味

つくばでは、旧暦の初午の後、北関東方面の伝統料理「すみつけ」を作ろうという。今では一部でしか作らないが、粗くおろした大根おろしと人参などを煮て、しょうゆや酢を味付ける。冷ましでもよいが、寒い冬に体が温まる伝統食だ。すみつけを「筑波おろし」と紹介しているテレビ番組があった。実際は、地元ではそう呼ばないらしいが、粗めの大根おろしを使うこと、全国に知られる筑波の季節風「筑波おろし」をかけてのことだろうか。

▼筑波おろしは、筑波山からの吹き下ろしだとよく誤解される。しかし、本当は冬に吹く北西の季節風を、関東の名山・筑波山から名前を取り、筑波おろしと呼んでいる。▼つくばの冬は寒い。2年前に横浜から出て来て、同じ関東でこれほど違うものかと驚いた。茨城県内では大子町に続き、2番目に寒い。原因は筑波おろしという意見が一般的だが、筑波山の南側のふもととは、さほど寒くないという。地元の人曰く、筑波山の西から北、学園都市方面が寒いのは、栃木から来る「日光おろし」の通り道でもあるからだそう。▼12月に入り、寒さとの戦いが始まった。筑波おろしや日光おろしに負けて家に閉じこもるのではなく、外に出ていくことで、つくばの文化や生活に触れることができる。私は初めてのすみつけを食べ、食に行きたいと思う。



# 「芸術」が共通科目に

## 実習中心に 24 科目開設 「本学の特徴に触れて」

教養科目の見直しや、総合大学である本学の特徴に触れる機会の提供を目指し、来年度から共通科目として「芸術」が開設されることとなった。12月18日の学群教育会議で開設科目が決定される予定だ。これにより、これまで芸術専門学群開設の実習に参加できなかった一般の学生が、絵画などの実習に参加できるようになる。

開設されるのは、「アートツアーA・B」（人数制限60人）、「絵画実習A・B・C」、「版画実習基礎」（25人）、「日本画実習A・B・C」（30人）、「塑造実習A・B・C」（10人）、「書A・B・C」、「色彩基礎演習」（40人）、「隔年開講・講義「現代アート入門」、「クラフト実習A・B・C陶磁（人数制限あり）、「イラストレーション（30人隔年開講）」、「大衆を開くアート・デザインプロデュース演習A・B・C」の全24科目。

いずれの科目も学期完結型で1単位となる。卒業要件として認められるかは各学群・学類の判断による。受講者が人数制限を超えた場合は平成20年度以降入学者が優先される。

新設科目の「アートツアー」では、講義と並行して美術館におけるガイドツアーを集中授業として行う。「大学を開くアート・デザインプロデュース演習」では、大学内外のアート・デザインに関するさまざまなプロジェクトに学生が参加し、地域や大学への貢献を行う。2005年度には特色GPにも採択された。

今回、共通科目の開設にあたって実習・演習を重視した。西川潔芸術専門学群長（芸術・教授）は「芸術の概論はメディアなどから学ぶことができるが、体全体と感性を使つてものを作る体験は他にはない」と話す。24科目中16科目では芸術専門学群生の受講も認められる。西川教授は「芸術の学生と他の学生が入門編を一緒にやったら刺激的で面白いだろう」と期待を寄せる。

課題は、担当教員の多くが全学対象の科目を担当した経験がないことだ。今のところ受講希望者の人数やレベル、ニーズがわからないため、「1年間は試行になるだろう」という。また、芸術の教員数が60人に満たないため、学生のニーズへの対応が難しい場合も考えられる。

共通科目「芸術」に対する学生の希望を調査するため、在学生を対象に、TWINNSを使ったアンケートを12月26日まで実施している。今後、芸術を専門と教養で学べる欧米の大学の実態調査なども行い、来年度以降の科目に反映させていく予定だ。

工藤典雄副学長（教育担当）は「体育と芸術は本学の特色であり、国立の総合大学で芸術を学べるのは本学のめだ。学生には深い知識だけでなく、豊かな人生を送るチャンスを提供したい」と話した。

ノギセン収穫祭  
農林技術センターの収穫祭が11月15日に同センターで開かれ、教職員など86人が参加した。同センターで収穫されたジャガイモを使ったコロッケや、そばなどが振る舞われた。

そばを食べる岩崎洋一学長（右）と谷川彰英理事（左）

## 大学院早期修了プログラム 最短1年で博士号取得 来年は4研究科で実施

博士号取得を目指したプログラムは国内では初めて。履修希望者は、合格発表手続までの間に、研究科または専攻指定の書類を提出。業績リストなどから「一定の研究業績」を持つ者か否かが判断される。今年度の入学試験は、来年2月初旬に実施される。

博士号の質を保証するため、各学生のレベルを「達成度評価システム」で定期的に検証。また外部評価委員会を設置し、学位授与システム全体を評価する。

研究所で働き、同プログラムを履修している中野敦さん（シス情・43）は「仕事でやっていた研究を約半年でまとめるのは大変だが、1年で博士号が取れるのはありがたい」と語った。

同プログラム運営委員長の田中二郎教授（CS）は「博士号取得は、企業から大学へ転身したい人などにニーズがある。修了生から意見を聞き、希望者の期待に応えられるようにしていきたい」と語った。

1951年東京大学農学部林学科林産加工学卒。73年同大農学博士。41年農林省林業試験場、67年東京教育大学農学部助教、76年同大教授などを経て78年本学農林工学系教授。

安井 恒男氏（やすい・つねお）本学名誉教授 11月1日死去、80歳。

1952年東京大学農学部農芸化学科卒、57年東京大学大学院（旧制）退学、61年同大農学博士。63年東京教育大学農学部付属木材糖化研究施設助教授、77年同大教授、同施設長などを経て、78年本学応用生物化学系教授。

宮島 龍興氏（みやじま・たつお）元本学学長、元東京教育大学学長、名誉教授 11月26日死去、91歳。

1939年東京帝国大学理学部物理学科卒。46年同大理学博士。31年東京文理科大学助教、52年東京教育大学教授、70年同大学学長、76年本学学長。89年勲一等瑞宝章。

鵜川 昇氏（うかわ・のぼる）元学友会理事長 11月27日死去、87歳。

1964年桐蔭学園高等学校長、84年桐蔭学園理事長、99年社団法人茗溪会理事長、学校法人茗溪学園理事長、財団法人筑波学都資金財団理事長、2000年本学運営諮問会議委員。

## 霞ヶ浦浄化

## 杉浦教授ら装置開発

## 県内の廃棄物を利用

レンコン畑から霞ヶ浦に流入する汚濁水を浄化する装置「SU-8システム」を本学の杉浦則夫教授（生産）が開発した。廃棄物を利用した低コストの装置で、汚濁の原因物質の除去率が高い。県や民間企業の日高建材（茨城県石岡市）と協力して、3年近くかけて実用化させた。

表面に微生物を付着させて、ろ過材を通して汚濁水に含まれる窒素やリンなどを分解、除去する。これらの物質はレンコン畑からの排水に多く含まれ、アオコの発生要因となる。汚濁負荷は霞ヶ浦全体の1%といわれている。レンコン畑の用水路での実証実験では、窒素は45%、リンは84%、アノモニアは99%除去することができた。早稲田大や東北大などが研究開発したろ過材と比べると、2-5倍の除去率だ。

ろ過材の原料である廃ガラスと土はどちらも県内で出た廃棄物で、使用後はそのまま肥料として再利用できる。「これにより地産地消型のリサイクルが実現す



レンコン畑横の水路に設置された「SU-8システム」

が、SU-8システムは廃棄物を利用して、200万円ほどで製造できる。浄化装置の今以上の普及が期待できそうだ。

杉浦教授は「今度はプールなどで殺菌剤を入れなくてもよいろ過システムを作りたい」と目標を語った。

## 「異分野学生協働によるコンテンツ開発演習」 第1回啓発セミナー開催 番組制作のプロが講演

さまざまな専門分野の学生がコンテンツ作りを取り組む情報学群の「異分野学生協働によるコンテンツ開発演習」が今年7月、現代GPに採択された。それを受け「第1回啓発セミナー」が、11月27日、春日キヤンパス情報メディアユニオンで開催された。当日は同演習の説明に加え、テレビ番組制作プロダクションの代表取締役やNHKアナウンサーが情報や映像、コ

ミュニケーションなどについて講演した。

同演習は、デザインを担当する芸術の学生、知的財産権を担当する法学の学生などが、情報学を学ぶ学生と協働してコンテンツ作りに取り組むもの。

セミナーの初め、海老原義彦情報学群長（CS・教授）が「異分野の学生間のコミュニケーションから新しいものを作り出していく」と、プログラムの今後へ向け意気込みを語った。

また、京都精華大学マンガ学部と協力し、制作するコンテンツに「マンガ」も取り込んだことを明らかにした。

その後、テレビ番組ユニオンの浦谷年良副社長が講演を行った。浦谷氏は、アニメ映画監督の宮崎駿氏に密着したドキュメントを撮影した時の話を披露した。その中で「宮崎監督のアニメは、無声映画の時代に、

役者が体の動きだけで体当たりで演技したのが日本映画に似ている」として、「この表現方法は、映像による表現の王道を行くものだ」と指摘した。また、「表を自分の中で生かせるように頑張りたい」と語った。

## つくばチャレンジ

## ロボットが自律走行

ロボットが1つのコースを自律走行する初めての公開実験「つくばチャレンジ」が11月17日、つくば国際会議場（つくば市竹園）のペデストリアンで行われた。東京大の研究チームなど33チームがエントリーし、前日の予選を勝ち抜いた11チームが当日の本走行に臨んだ。本学の知能ロボット研究室から「屋外組」と「つくるぼ」の2チームが出場し、共に本走行で完走。記録はそれぞれ、23分00秒、23分45秒だった。

自律走行とは、人の操縦なしにロボットが自分の判断に基づいて走行するものだ。実験では、ロボットの速さよりも、人と環境に対する安全性などを重視し、人によつたコースから外れたりしたら失格となる。本走行で完走したのは3チームにとどまった。

10人からなる「屋外組」ではロボットに数百万円する機材を投入し、高精度のGPSを使用。メンバーのモラレス・佐伯・ルイスさん（シス情博士後期2年）は「完走できてうれしい。今回の経験をまとめ、国際学会に発表したい」と語った。

「つくるぼ」では大島章さん（同修士1年）が一人で12万円の低コストロボットを完成させた。「縁石に乗り上げた場合の対策をしていなかったが、無事完走できてよかったと話した。つくばチャレンジ委員会委員長は油田信一教授（知能）は「ロボットが自律走行するのは本当に難しい。今回3チームが完走できたことは予想以上の成果。市の協力が得られれば、来年もやりたい」と語った。

## 痴漢で教員解雇

本学は11月15日、徳島県内のJR車内で痴漢行為をしたとして、増田哲也准教授（数物）を懲戒解雇処分とした。

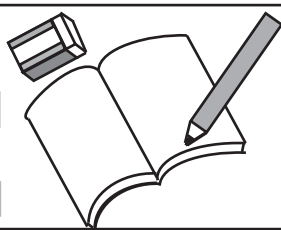
同准教授が痴漢行為に及んだのは8月4日。高知大での講演を終え、次の講演会場に向かう途中での出来事だった。被害を受けた専門学校生の通報により、翌5日に逮捕された。

青山 経雄氏（あおやま・つねお）本学名誉教授 10月31日死去、80歳。

訂正 本紙第265号2面の高大連携まちづくりワークショップの記事に「本学のSPP採択は初」とありますが、昨年度、地球環境科学専攻の「地理情報システム（GIS）」を学ぶが採択されていました。お詫びして訂正します。



# 自主研究会に迫る



プライマリケア  
研究会

招いたり、学外のセミナーに各自参加し、その内容を漢方を専門とする教員を学外から招いたという。

招いたり、学外のセミナーに各自参加し、その内容を他の会員と共有したりする。招く教員は、主に附属病院に勤める教員だが、時には学外からも招く。大学の講義では学べる分野が限られている。例えば漢方の知識は将来必要となるが、

漢方を専門とする教員を学外から招いたという。

後者の活動では、各学期に1回話し合いを行い、決められたテーマについて議論する。最近では、「生活習慣病患者者に生活習慣を改めさせるアプローチを考える」という内容で議論した

# 目標はより良い医療者

ロシア語サークル  
カリンカ

イクラ、セイウチ、アジ 表の土屋智さん(国総4年)

ト、ノル。日常で身にするこれらの言葉は、全てロシア語由来の外來語だ。ロシア語サークルカリンカは、顧問の加藤百准准教授（文言）の研究室で毎週木曜日に活動している。カリンカとは、ロシア民謡で知られる、赤い実をつける植物の名前だ。

毎週木曜日の活動のほか

カリンスは、本学開学当初から30年近い歴史を持つ。ロシアの音楽やビデオ、ゲームを通して、ロシア語を学び、メンバー同士の交流も図っている。

秋休み後初めての12月6

# ロシア語で文化を学ぶ



日本語の能力を伸ばせる。パーティーなどの集まりは楽しい時間だ」と話す。代表の土屋さんは第二外国語でロシア語を選択し、隣国ロシアのことをより深く知りたいと思い1年間ロシアに留学した。「日本との政治的あつれきのせいか、ロシアにあまり良い印象を持っていない人が多いが、ロシア語はきれいだしロシア人は優しい」と語る。土屋さんはカリンカの活動について「いろいろなことをやる中で、ロシア語の能力を伸ばすことが一番の目的。言語の背景にある歴史や文化を知ること大切だ」と言う。一方で「単なる語学バカの集まりにならないか」とも話す。カ

リンカを通して仲間を増やし、留学生と交流すること、現地の事情を知ることができるのも魅力だという。

現在、日本人学生と留学生の出身地はロシアをはじめ、旧ソ連の国々を中心にさまざま。メンバー増加の背景には、2002年かから始まった、ロシア国立サントペルブルク大学との交換留学制度が影響しているようだ。

カリンカは、留学生や、ロシアに思いを馳せる学生にとって「家族のように落ち着き、安心して議論できる場所」と土屋さんは語った。

国際問題へ深い理解を

3日で講演会やプレゼンを行った。

UNSAJを通して、国連の会議を傍聴することもできる。代表の河野千寛さん（国総2年）は、2週間スイスのジュネーブにある国連ヨーロッパ本部に行き、研修に参加した。他大

学や海外での活動は刺激的だという。こうした経験ができるのもIRAの魅力の一つだ。

国際問題の解決に貢献するために、何ができて、どうするべきなのか。河野さんは「今のメンバーは国際総合学類が多いが、他学類の人にも参加してもらって、自分の知らないことを知っていきたい」と意欲を見せた。

[illegible]

て手塚さんは「医療でも、世界に飛び込んでほしい」  
漢方の知識や、家庭医療の  
重要性など、知らない世界  
も多い。まずは興味のある

.....

上級生の会話についていく  
のがやっとでも、2年目にな  
ると少しずつ法律が理解  
できるようになるという。

法律の難しさ奥深さは、  
権利と権力が対立したと  
き、いかにフランスのよい  
結論を出すかにある。政治  
家の靖国参拝問題では、信  
教の自由や政教分離の原則  
が対立するため、違憲か合  
法かが争点となる。

.....

には、OBの間でも大きく  
意見が分かれ、議論が白熱  
した。「正しい」と思う結  
論が人によって違うため  
そこから議論が発展する。  
どれだけ平等な結論を導い  
たと思っても、意見の対立  
は生まれるという。

.....

司法試験やロースクール  
試験の合格を目指す会員も  
多いが、桐法会の活動は、

うに浅く広くではなく、一つの論点について深く勉強する。試験に受かるためには別に勉強が必要だが、桐法会の活動が、それらの試験に役立つことも多いという。会員の森田康平さん（社会学4年）は「桐法会には普通3年生から参加するゼミに、2年生から参加する会員もいる。モチベーションの高い人が周りにいると試験勉強も頑張れる」と語る。

夏休みには、最高裁や高裁、地裁などを訪れ、実際の裁判の流れを確認する。

森田さん。最初は意味がわからなくても、だんだんと勉強したことがつながり、意味がわかるようになる。弁護士への駆け引きのうまさや絶妙な質問の仕方などを学べ、実務を目指す人には役立つという。

桐法会の活動で大切なことは、議論を通して法律の奥深さを感じること、法律を勉強する人の輪を広げることだ。桐法会にはOBが訪れることもあり、弁護士をしている先輩にその大変さを教えてもらうことも

# 議論で広がる法律の輪

國際問題研究会

I  
I  
R  
A

**国際問題研究会**

――R A――

アフリカの内戦をテーマにした映画「ブラッドダイヤモンド」

前に問題を理解することが、困に苦しむかもしれない。メンバーの鈴木佐江子さん（国総2年）は「何も知らずに解決しようとしても何もできず、悪影響すら与えてしまう。やるなら

利益を得る企業があるので、このように一つの問題についてさまざま側面から話し合う。その

学生連盟（UNSAJ）に加盟している。東京大や慶応大などから6団体が参加し、年3回のセミナーを行っている。12月には世界人権デーに合わせ、2泊



「ヤモンド」を見る。これも国際問題研究会（IIRA）の活動の一つだ。作品を鑑賞した後、メンバーで紛争をテーマに話し合った。

IIRAは毎週火曜日午後7時半から、中央図書館セミナー室で活動している。現在メンバーは15人。主な活動はプレゼンとディスカッションだ。テーマは児童労働や貧困、イスラム文化など多岐にわたり、2時間を超える活動は閉館時間間まで盛り上がる。

国際問題は政治、経済、歴史などさまざまな要素が複雑に関係し、解決するの

「もっと理解を深めてからにしたい」と語る。

例えば発展途上国の児童労働の問題。子どもの人権を守ろうと労働を辞めさせたら、その家族は1層の貧

知識は今後自分が何か行動を起こすときの糧になりつ

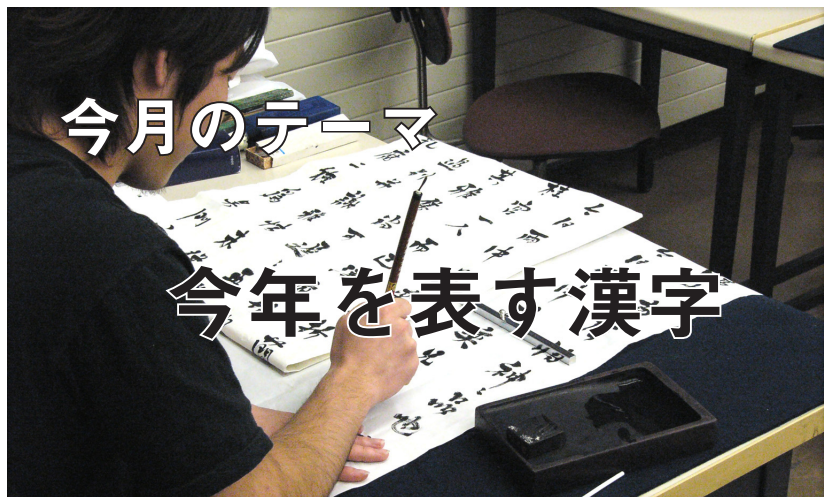
IIRAは日本国際連合

3日で講演会やプレゼンを行った。

UNSAJを通して、国連の会議を傍聴することもできる。代表の河野千寛さん（国総2年）は、2週間スイスのジュネーブにある国連ヨーロッパ本部に行き、研修に参加した。他大、学や海外での活動は刺激的だったという。こうした経験ができるのもIRAの魅力の一つだ。

国際問題の解決に貢献するために、何ができ、どうするべきなのか。河野さんは「今のメンバーは国際総台学類が多いが、他学類の





# 反射鏡

裏切り感じた一年  
信頼の大切さ学ぶ  
田村貴広 (人文1年)

12月1日付の読売新聞朝刊を読んで、もう今年一年を終結する時期になっていたと改めて認識した。そこには、十大ニュースの予想を募集していることが今年の主な出来事の一覧とともに書かれていた。

そこで、自分なりに今年一年を振り返ってみたい。私は現在1年生だが、受験から奇跡的な合格、そして大学生活へと、非常に大

きな環境の変化を経験した。そういった個人的な体験と昨今の社会的事件とを鑑みて今年の漢字一字を、もちろんそれは完全な独断によるものであるが、決定してみたいと思う。

先に結論から書く。その漢字とは「信」である。親元を離れ一人暮らしをする中で人との信頼が大切な場所、そこへ決して戻らない。当たり前のことである。一度失った信頼を取り戻すのは非常に難しい。みんなもっとそれを意識するべきである。自戒を込めて思う。

社会においては菓子を

治においては安倍前総理による突然の辞任、国外においては段ボール肉まんに関する騒動、スポーツにおいては相撲とボクシングの世界で採っていた。

以上の例はごく一部ではあるが、今年は「信」を矢

そもそも、人を信じるということのは人間の社会が存在するための最低条件で

絶えず遷ろう世相  
流されない努力を  
鳥塚篤広 (芸術2年)

光陰というものはまさに矢のようで、筑波大学に来ては6年が過ぎようとしています。当時18歳だった自分はもはや遠い存在に思われ、年々月日の経過が早く感じられるようになりまし

は、このように感じる。人々を信用できないならば、何もできないと思う。「信」を失う

現れる裸の日本  
幻想崩れた年に  
上床悠 (社会学3年)

「失われた」と評される先の十年間、この国で信じられていた「神話」は片端から打ち砕かれ、国民は泰平の眠りの世界から厳しい現実の世界へと引き戻され

例えば、隣国の食の危険感を強める外国人労働者たちへの理解と開放の要求は、今後の強みとして、一方で「食の安全」神話が突き崩された。食品加工の現場に裸の姿が茶の間で報道され、また一つありのまの日本の姿に気付かされた。あるいは、介護サービスへの安心感、年金制度への信頼感、政治家の「責任」感と、一枚一枚幻想のヴェールがはぎとられた。やがて現れてくるだろうか。裸の日本とはどんな姿を

私個人は卒業を間近に控えてもやり残したことが多く、日暮れてなほ、道遠い次第です。しかし、この大

3年目の気づき  
思いやり忘れず  
藤本知佐 (体育3年)

私の今年の漢字は「氣」です。「氣」という字はいろいろな意味を持っている漢字で、気迫や気合、気力などたくさんあります。「氣」が持つ意味の中で私は「気づき」から今年の漢字を選びました。

今年には波乱も訪れ、人並みに悩み苦しんだりもしましたが、筑波を嫌いになることもありませんでした。そのときに自分を助けてくれたのが大

自分には波乱も訪れ、人並みに悩み苦しんだりもしましたが、筑波を嫌いになることもありませんでした。そのときに自分を助けてくれたのが大

例えば、隣国の食の危険感を強める外国人労働者たちへの理解と開放の要求は、今後の強みとして、一方で「食の安全」神話が突き崩された。食品加工の現場に裸の姿が茶の間で報道され、また一つありのまの日本の姿に気付かされた。あるいは、介護サービスへの安心感、年金制度への信頼感、政治家の「責任」感と、一枚一枚幻想のヴェールがはぎとられた。やがて現れてくるだろうか。裸の日本とはどんな姿を

## 筑波時評

最近原油価格の高騰が止まらない。原油価格(ドバイ)は2002年の2月には1バレル当たり20ドルであったものが、着実に高まり続け、2006年8月には70ドルを突破した。その後一時的に50ドル台にまで値を下げたが、今年の1月からは再び一貫してデ

高騰はさまざまな影響を経済に及ぼす。その最たるものは、原油輸入国から原油輸出国への所得の移転である。無論日本は原油輸入国であるので所得が流出する側であり、国内総生産がある程度の成長をしても、国民所得は低成長となる。

なお、国民所得の構成要素は労働者の所得と企業収益であるので、労働者の実質的な所得や企業収益は伸び悩むこととなる。労働者の所得が伸び悩めば、当然消費を切り詰めることから、個人消費は打撃を受ける。また企業収益が伸び悩めば、

2年目は1.24%との結果が出た。しかし最近内閣府が同じ試算を、日本経済マクロ計量モデル(2005年版)を用いて行ったところ、GDPの押し下げ効果は1年目0.11%、2年目0.14%と、過去に比べはるかに小さくなって

もちろん最近の急騰にはサブプライムローン問題により金融商品から逃避した資金が原油市場に流れ込んでいるという

「気づき」が持つ意味の中で私は「気づき」から今年の漢字を選びました。

今年には波乱も訪れ、人並みに悩み苦しんだりもしましたが、筑波を嫌いになることもありませんでした。そのときに自分を助けてくれたのが大

このように原油価格の上昇は、個人消費は打撃を受ける。また企業収益が伸び悩めば、

シエネルギー消費が効率化した。これは数字にも表れている。過去に経済企画庁が世界経済モデル(1982年版)を使っ

原油価格の高騰が20%上昇した場合、日本の実質GDPがどの程度押し下げられるか試算したところ、1年目は0.46%、

原油価格の高騰が20%上昇した場合、日本の実質GDPがどの程度押し下げられるか試算したところ、1年目は0.46%、

原油価格の高騰が20%上昇した場合、日本の実質GDPがどの程度押し下げられるか試算したところ、1年目は0.46%、

原油価格の高騰が20%上昇した場合、日本の実質GDPがどの程度押し下げられるか試算したところ、1年目は0.46%、



高安雄一

投稿募集

大学新聞では毎月「反射鏡」の投稿を受け付けています。設定したテーマに限らず本紙への批評、そのほか、大学に関するさまざまな事象に対するご意見を右記連絡先までお寄せください。学生、教職員の方々の多様なご意見をお待ちしております。

次号のテーマは卒業にあたって「一言」です

連絡先  
TEL 0296-8533-6699  
e-mail shunbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp



総合造形パフォーマンス  
「不審者、ノック13回」上演



「多生之・エン」。赤い風船が観客の目を引いた

「異価値観」の世界を作る

体専生4人も参加

芸術専門学群開設の授業「展示・造形パフォーマンス」の成果発表として、13人の受講者による「不審者、ノック13回」が、11月22日午後6時半から、総合研究棟D北側デッキで行われた。気温が低く風も強い中、約120人が訪れた。今年でおよそ30回目となるパフォーマンスは、本学出身のアートユニット「明」の受講者による「不審者、ノック13回」が、11月22日午後6時半から、総合研究棟D北側デッキで行われた。気温が低く風も強い

「異価値観」の世界を作り出した。ノックの音だけが響き、パフォーマーである13人の「不審者」が観客席後方から観客の間を縫って、ステージへ姿を現した。パフォーマンスでは観客席の中に入っていく、観客に抱擁したり、口に含んだ水を吹きかける演出も見られた。寒い中、泥を被ったり、池の中に潜るなど体を張った演出も多く、観客は次々と繰り広げられる独特の世界に歓声と悲鳴を上げた。総括を務めた田村香織さん(芸専4年)の「多生之・エン」では、白い衣装をまとって肩車をし、下の4人が妊婦のようにお腹を抱えた4組のパフォーマーがス

さん(体育1年)は「二つな試みで面白かったと話。一つに驚きがあった、後でまた思い出そう。実験的

バイオeカフェ  
科学の報道姿勢説く  
メディア監視も視野に

バイオ科学に関する現代的テーマについて学生や市民が研究者と語り合う「第17回バイオeカフェ」が、11月27日に総合交流会館で開かれ、お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科の白樂ロッキル(本名林正男)教授が講演した。「メディアが伝えるバイオ研究」という題で、バイオ政治学という独自の研究分野の立場から、原子力やクローンなど、先端科学の研究テーマに対する報道姿勢への問題提起などを行った。白樂教授は、「一般の人

は、メディアが伝える事実より印象からイメージを抱きがちだ」と指摘。「遺伝子操作」や「クローン」といった言葉に否定的なメディアの論調を「事実の内容でなく、扱うテーマで肯定・否定を決めている」として、科学記者育成の充実や、先端研究の研究者らによるメディア監視の必要性を訴えた。



塩尻 和子

かつて田舎の文学少女だった私は小中学生のころ、世界文学全集などを読みまくり、西洋キリスト教社会に憧れを感じていた。大学でアラビア語を専攻することになって、キリスト教に対する憧れは変わらず、ヘブライ語やアラム語(イエスが話していた言語)、シリア語などを学ぶことで、将来は原始キリスト教を研究したいと熱望したのである。

真理考えるきっかけに  
キリストとイエス

八木誠一著

も真実に具現した人であった」と人間イエスの本来の生き方を明らかにし、当時の日本のキリスト教界に大きな衝撃を与えた。八木先生は、ただの人とは最も真摯に神に服従する人のことであると言いつつ、数年前に日本学術会議の講演会で長年憧れた八木先生にお会いする機会があり、今なお斬新で刺激的な見解を発表され続けるお姿に感激した。最近「新約聖書の構造」(岩波書店、2002年)を取り上げて、自由な人間の実存を明らかにした。そこには教会の権威主義によって祭り上げられたキリストではなく、イエスの厳しくもやさしい姿が浮かび上がる。

このたび改めて読んでみると、ジョン・ヒックの宗教多元主義に近い考えもあることに気がついた。イスラーム研究を専門とするようになった私にとってすべての宗教に通じる真理を考えるきっかけを与えてくれ、激励してくれた本でもある。数年前に日本学術会議の講演会で長年憧れた八木先生にお会いする機会があり、今なお斬新で刺激的な見解を発表され続けるお姿に感激した。最近「新約聖書の構造」(岩波書店、2002年)を取り上げて、自由な人間の実存を明らかにした。そこには教会の権威主義によって祭り上げられたキリストではなく、イエスの厳しくもやさしい姿が浮かび上がる。(哲思・教授)



小学校のころから小学校教師になると自分のキャリアを思い描いていた。ずいぶん対象が異なったが、今、大学生と社会人大学院生の教員である。小さいころから頑固であり、一人で決めて動き始めるところがある。

研究歴は大学院生ころから考えれば15年目、大学教員になり7年目と短い。大学は家政学部だったが、部活動を通して出会った顧問の先生のエネルギーに惹かれ、学生時代から中高生者の社会

一味違う運動指導目指す  
その人らしい生き方研究

デンマークの体操学校に留学し、半年間異国の地で体操三昧の日々を過ごした。帰国後は、5年間運動指導と家庭教師をしながらフリーターだった。周りはあきれつつも頑固に自分の好きなことを



橋本佐由理

ことをしているいいね」に変わっていた。私は何も変わっていないのに。修士課程に2年、博士課程後期には5年間在籍し、その間運動指導とカウンセリングの技術も磨いた。大学院に入った

た。それから子育てで支援研究にエネルギーが出た。こうしてエネルギーの向くままに、中高生者の健康行動、生活習慣病者の生き方変容、ソーシャルトレーニング、子育て支援など人と関わる研究



MC展 1400人が来場

25日にかけて茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開催された。今年は昨年より127人多い1400人が訪れた。展示作品は、洋画27点、日本画21点、版画8点の計56点。つくば市内から来た女性は「細部まで手の込んだ丁寧な作品だが、全体としてのバランスはもう一歩。これからの課題にしてほしい」と話した。また23日には藤田志朗教授(芸術)ら教員4人による日本画の公開講評会が、25日は玉川信一教授(芸術)そのまますぎ継がれた。

ら教員5人による洋画の公開講評会が行われた。日本画を出展した松井寿子さん(人間総合1年)は「どうして絵を描くのかなど難しい質問を受けた。参加者からの質問に答えたり他の作品を見たりすると刺激になる」と話した。MC展は昨年度までは修士課程を指すMaster Courseの略語を付していた。大学院再編に伴って今年度から修士課程は廃止されたが、MC展の名称はそのまますぎ継がれた。

日程 本学生6人が入選 第39回日展が11月2日〜12月9日にかけて行われ、本学生5人が彫刻部門で1人が日本画部門で入選した。日展は1907年に始まった国内最大級の公募展。入選者作品名は以下の通り。▽彫刻部門Ⅱ宮坂慎司(芸術・博士後期課程1年)「雨の端」、岸本晋也(同前期課程1年)「森の中の象のよに」、森英顕(同)「閑話休題」、北野明子(芸術・修士課程2年)「温」、三政洋一(芸術・一貫制博士課程2年)「扉」▽日本画部門Ⅱ池田真理子(同4年)















紙・冲山京二社会学類）



## 本学の暖房設備

寒さの厳しい季節がやってきた。暖房設備は寒さの中でも快適に大学生活を送るようにするためのものだ。しかし、快適な室温になっていないことがあるのはなぜなのか。本学の空調設備の現状に迫った。

## ◆不適切な室温

冬場の学内には、暑すぎる教室と寒い教室がある。休日の集中授業や、



中央機械室のボイラー

◆小回りのきかない空調 本学の空調設備の熱源は、開学当初から大規模集中方式と呼ばれていた。第一エリア近くの中央機械室で、一

## ズームアップ

まう場合がある。人が多かったり日当たりの良い教室は暖房が効きすぎてしまい、暑い教室に合わせ空調を抑えれば、他の教室は寒くなってしま

「本学の冷暖房設備は中央で全体を管理しているため、小回りがきかない」と話す。一部の教室を暖

## 不効率な中央の一括管理

## 各教室との連携を密に

めたい場合でも、中央のボイラーを稼働させなければならぬ。

◆温度調節 本学の暖房は基本的に18度に設定されているが、日中の気温が15度以

施設部職員がその教室を制御する機械室で調節してくれるのだという。しかし、実際に学生からの要望で空調が調整されることはほとんどない。空調が不快と感じてもどうしていいかわからず、諦めている場合が多い。

## ◆改修計画

本学では現在、老朽化

している。今年3月に改修された1E棟ではブロック別集中方式の暖房が整っている。神さんは「全体の改修には時間がかかりそうだが、設備を少しずつ中央から切り離して改善していきたい」と話した。

## ◆連絡を密に

大がかりな改修も必要だが、現状でも快適な環境を作るためにできることがあるのではないかと、教室にいる学生や教員の意見が、支援室を通して中央機械室に伝わり、す

## 防犯講習会

## 自分で身を守る対策を

学生生活支援センター・ディプロジェクト(リーダー)吉武博通副学長・総務企画担当(共催)、筑波大学安全キャンペーン週間の一環として、防犯講習会が12月5日、大会館ホールで行われた。講習会では、つくば消費生活センター相談員の岡田三枝子さんとくは中央警察署生活安全課長の小園文夫さんによる講演が行われた。また、本学初の安全ポスターコンテストの表彰式も行われた。

岡田さんは、「その誘いは友達からやってくる」と題し、マルチ商法や携帯電話を利用した架空請求、インターネットを利用したショッピングなどに潜む危険について講演。「多くの情報の中から正しい、自分に合った情報を見極める力が

私は現在、桐政会という政治系議論サークルで活動している。桐政会是不偏不党を掲げた自由な議論の場である。私はそんな桐政会でこれまで多くの社会問題について議論をしてきた。入会のきっかけは友人の紹介だった。「せっかく大学という多種多様な人々が集まる場にいるのだから、それを生かした議論をしてみたい」と思っていたところへのタイミングの良い誘いだった。

## 根拠に基づく議論の場

今、入会直後のことを振り返ると、先輩方の議論についていくのに必死だったことを思い出す。データなどに裏付けられた意見による議論が目前で展開されていると、自分の意見が何の根拠も持たない薄っぺらなものであるということを痛感し、改めて「勉強したい」と思った。単なる意見の言い合いなら街角や居酒屋でもできる。しかし、それらはメディアから流れてくる意見の写しであったり、または主観に基づく何の根拠もない意見でしかないことが往々にしてある。

もちろんそういっ

屋早巳(社会学類2年)

## 第三エリア 食堂 5カ月ぶりに再開 改修で食事スペース広がる



各店舗が一つのフロアに統合された専門店街食堂

7月から行われている3A棟の耐震工事に伴い休業していた第三エリアの食堂が、12月10日に営業を再開した。専門店街食堂では、すべての店舗を一つのフロアにまとめ、食事スペースを広げるなどリニューアルを行った。

3A棟では来年3月まで工事が続く予定で、すべての教室が使えない状態のため、食堂を利用している学生はまた少ない。オープン当日に、友人とそばを食べたシス情2年の

男性は「すべての店が一つのフロアにあるため、食べたいものが揃って一緒に食べることができる。通路だったところにも席ができたため、広くなったいいのでは」と語った。

1日平均約2000人が利用していた第三エリア厚生施設の開鎖は、昼休みに第二エリア食堂が混雑するなど、学生生活に影響を与えていた。

12月5日の厚生会理事会で、腰塚武志副学長(学生生活担当)は厚生会理事会の学生理事らに対し、「これでいわれる昼食難民問題には一段落がついた。学生諸君には迷惑をかけた」と語った。

## おやじたちの国際貢献

## 元自衛官が地雷撤去

定年を迎えた自衛隊員で組織される、日本地雷処理を支援する会(JMAS)のメンバー田川友康さんによる講演会「おやじたちの国際貢献」が、11月15日、3K棟404教室で行われた。田川さんは、地雷処理の難しさやJMASの活動、日本が国際社会で担うべき役割などを語った。

田川さんは2002年からカンボジアやアフガニスタンなどで地雷撤去などの国際貢献活動を行っている。JMASが昨年2月からラオスで撤去した地雷は2万5870発に及ぶ。

## 留学生懇談会

約600人が参加

学長主催の留学生懇談会が、11月18日に第二エリア大食堂で開催された。留学生やチューター、教職員など約600人が集まり、交流を深めた。



出身国や学生生活について会話を楽しんだ

立食パーティーの形式で懇談会には、邦楽部の演奏が行われた。参加したマタリエワリカモラさん(人文3年)は、いろいろな国の人と話せて、本当に楽しかったと話した。

## ザヤさん

## ドナーを変更 手術は2月に

今年3月に急性腎不全で倒れ、現在闘病を続けているシャグダル・バドル・ザヤさん(モンゴル、特別研究員、文言)の腎臓移植手術が来年2月ごろにずれ込む予定だ。ドナーが変更になったためだ。

当初はザヤさんの日本人の友人がドナーになり、今年中に手術する予定だった。しかし検査の結果、血液型が違っても腎臓の移植が可能とわかったため、今回改めて血縁者から提供を受けることとなった。

ザヤさんを救う会(発34160609 起人)小野澤正喜教授・歴人)では、移植手術やリハビリなどに必要な費用を捻出するため、取手や土浦のカトリック教会などで募金活動を行っている。しかし、11月26日現在まで281万円しか集まっておらず、目標とする3000万円には未だ遠い。

同会のカルター・バダム・オスルさん(図情マ後期2年)は「今後、留学生やモンゴル人が集まる機会に募金活動を行いたい」と語った。

募金の振込先(常陽銀行 研究学園都市支店104、口座名「ザヤさんを救う会」口座番号(普通)34160609



ホットスパー

追越・平砂共用棟から撤退



現在、宿舎共用棟の売店業務に参入しているホットスパー(本社：土浦市)が、学内業務での業績不振のため、来年1月中旬をめぐり、平砂、追越両地区の売店業務から撤退することが決まった。12月5日の厚生会理事報告された。一の矢売店は営業を継続する。また、公設綜合サービス(本社：東京・北区)が参入している一の矢食堂と、EXサービス(本社：千葉県野田市)が参入している平砂も撤退が決まった。ホットスパーからは、9月末ごろから、本学厚生会にたびたび撤退要請書が出されていた。厚生会ではそのたびに、腰塚武志副学長(学生生活担当)名義で継続要請書を出していたが、同社は再三「継続は厳しい」と回答。厚生会は全学学類・専門学群代表者会議や厚生会理事会の学生理事と協議の上、撤退を受け入れることに決めた。

一の矢食堂を経営する公設綜合サービスでは、食堂の工事が12月21日から予定されているため、20日に営業を終了する予定だ。現

在後任業者は決まっていない。平砂喫茶はこれまで平砂食堂が休業する土曜日も営業を行っていた。そのためEXサービスでは、同社が営業している平砂食堂を土曜日も営業することで、宿舎居住者が共用棟で食事できない日がないよう配慮するという。

◇

一昨年、開学以来宿舎厚生事業を担ってきた吉池サービス(本社：東京・台東区)が経営不信で撤退したのに続き、今度はホットスパーが平砂と追越両地区の売店業務から撤退することとなった。今後、宿舎の厚生事業のあり方が問われることになりそうだ。

ホットスパーの堀口悦弘営業企画部長によると、同社が撤退を検討し始めたのは、今年9月。具体的には売上額や赤字額について堀

口部長は「参入当初、ある程度試算を立てていたのだが、それを上回って経営は厳しかった」と語る。営業もともと宿舎周辺はコンビニの競争が激しい地域だ。堀口部長は「アスベスト工事などあって、吉池サービス撤退から開店まで間が空いてしまい、その間に宿舎居住者の足が周辺のコンビニへと完全に回ってしまった」と語る。営業時間を深夜まで延ばそうにも、宿舎共用棟の施設は午後11時には閉まってしまいうため、不可能なのが現状だ。売り上げ向上のために同社が要望していた酒類販売は、全代会が3月、当時の

1年生を対象に行ったアンケートで、販売に肯定的な意見が半数を越えたため、実現に向けて動くかに見える。しかし10月ごろに、学生が急性アルコール中毒で病院に搬送されるなど、アルコールに関するトラブルが学内で絶えない現状を考慮して結局は見送られた。

毎日昼食やテーブルスベイスでの勉強で追越売店を利用している看護3年の女性は「こんなに利用者がいるのに、撤退するなんては看護学生だ」と語る。厚生会理事会で、腰塚副学長は「このままでは宿舎厚生サービスは衰退する一方だ。学生も交えてアイデアを集めなければ」と危機感を募らせた。

劇の内容は、仕事に疲れたサラリーマンに目の前のパソコンが話しかけ、日常の中に忘れたものを思い出させるというものだった。倉井さんはオリジナル曲やコンクールで歌ったフレンチポップスなど14曲を披露。ライブは2部構成で、曲の間には演劇が折り込まれた。第1部はラジオの公開放送という設定で、倉井さんがDJになり、曲を紹介しながら歌った。第2部はレストランという設定で、観客は倉井さんの歌のフルコースを堪能した。

劇の内容は、仕事に疲れたサラリーマンに目の前のパソコンが話しかけ、日常の中に忘れたものを思い出させるというものだった。倉井さんはオリジナル曲やコンクールで歌ったフレンチポップスなど14曲を披露。ライブは2部構成で、曲の間には演劇が折り込まれた。第1部はラジオの公開放送という設定で、倉井さんがDJになり、曲を紹介しながら歌った。第2部はレストランという設定で、観客は倉井さんの歌のフルコースを堪能した。

学内で安全指導

9・10月で9件

自転車事故

本学周辺で自転車事故が頻発している。学生生活課の集計では9、10月中に自

転車の関わる事故が9件起こった。中には死傷事故も含まれている。

10月24日には、春日4丁目のファミリーマートの道路で、本学が運転する原付と自転車衝突する事故が起こった。自転車で乗っていた学生は骨折を骨折した。

全代会では11月5日から、スチューデントプラザ前や平砂学生宿舎前で自転車の無灯火防止キャンペーンを行った。また、学生生活課では12月3日、ペデストリアン上で、今年2回目となる学内交通安全指導を行った。

エコバッグフォーラムつくば

レジ袋削減へ意見交換

有料化の取り組みを紹介

17日午後1時～4時まで、つくばインフォメーションセンター(つくば市吾妻)で開催された。市民など約60人が訪れ、レジ袋削減と主権の「エコバッグフォーラムつくば」が、11月「一歩」について意見を交わ

した。つくばエコライフフレンズは、今年7月に環境問題についての実践的な活動しようという趣旨で発足した。学生と市民からなる団体。本学の環境サークルエコレンジャーも含めて現在8団体が参加している。フォーラムでは、レジ袋問題の研究者である舟木賢徳氏による基調講演が行わ

れた。舟木氏は、レジ袋が無料で配布されていることによって「レジ袋の乱用」が起きているとし、国内外のレジ袋有料化の取り組みを紹介した。日本人が1年で使う約444億枚のレジ袋は1日分の原油輸入量に換算できるとい試算や、レジ袋を10円にする

に、来場者は熱心に耳を傾けた。

イオン株式会社と株式会社カスミは、レジ袋無料配布中止に向けた取り組みの発表を行い、利用者の理解の大切さを訴えた。

学生代表で発表したエコレンジャーの山本泰弘さん(国総2年)は、学内で実施されたエコバッグについての意識調査の集計結果を発表した。24%の学生が日常的にエコバッグを利用し、きっかけがあれば利用したいという学生も多い。会場を訪れた富樫真美さん(社学4年)は「学内にいては分からない、市民や企業の取り組みを知ることができて良かった。まだまだ学生の意識は低いと感じた」と話した。

三系新体制決まる

08年の文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会の運営委員長と、体育会の執行委員長が決定した。文サ連の新運営委員長の井上正登さん(人文2年・学生ボランティアサークルピアラ)は「サークルのみなさんに文サ連が本当に必要な組織であると感じてもらえるような一年にしていきたい」と語った。

芸サ連の新運営委員長の山田悠貴さん(工基総2年・津軽三味線倶楽部無絃塾)は「所属団体とコミュニケーションをとるだけでなく、三系の人ともつながりを強くしていければ良い。そしてなにより元気づけ活動していきたい」と話した。体育会の新執行委員長の前場雄一さん(体専3年・蹴球部)は「練習を気軽に見学できるようにするなど、体育会団体の交流を深め、お互いのために生かしていきたい」と語った。

井上正登さん(人文2年・学生ボランティアサークルピアラ)は「サークルのみなさんに文サ連が本当に必要な組織であると感じてもらえるような一年にしていきたい」と語った。

芸サ連の新運営委員長の山田悠貴さん(工基総2年・津軽三味線倶楽部無絃塾)は「所属団体とコミュニケーションをとるだけでなく、三系の人ともつながりを強くしていければ良い。そしてなにより元気づけ活動していきたい」と話した。体育会の新執行委員長の前場雄一さん(体専3年・蹴球部)は「練習を気軽に見学できるようにするなど、体育会団体の交流を深め、お互いのために生かしていきたい」と語った。

アカペラの醍醐味は各メンバーの個性がはつきりと歌に表れることだ。リードボーカル、ベース、ボイスパーカッションなどさまざまなパートがあり、同じ歌でもメンバーが替われば全く違う歌になってしまふ。高校時代合唱部に所属していた前田沙苗さん(情報創成1年)は「合唱のような周りに合わせた歌い方と、個性を前面に出した歌い方のどちらも必要で、奥



声で多彩な「音」つくる

金光高浩さん(国総2年)は「雰囲気の良いステージをつくるために、選曲はもちろんだ、パフォーマンスにもこだわると語る。バンド数は50に迫り、掛け持ちも多い。中には7つのバンドを掛け持ち

が、台風で実施には至らなかった。「来年こそは行いたい」と語る長野さん。アカペラを通じて交流の輪はこれからも広がっていくだろう。

(本紙：高橋俊樹II社会学類)

「音」をつくる

アカペラの醍醐味は各メンバーの個性がはつきりと歌に表れることだ。リードボーカル、ベース、ボイスパーカッションなどさまざまなパートがあり、同じ歌でもメンバーが替われば全く違う歌になってしまふ。高校時代合唱部に所属していた前田沙苗さん(情報創成1年)は「合唱のような周りに合わせた歌い方と、個性を前面に出した歌い方のどちらも必要で、奥

が替われば全く違う歌になってしまふ。高校時代合唱部に所属していた前田沙苗さん(情報創成1年)は「合唱のような周りに合わせた歌い方と、個性を前面に出した歌い方のどちらも必要で、奥



MTGF

株式会社  
ポケモン  
石原恒和氏が講演

在校生と卒業生の交流の  
場である第12回茗溪・筑  
波クランドフェスティバル  
(MTGF) が来年1月26

「実はマラソン経験ほ  
とんどないんです。本  
学附属図書館医学サビ  
ス係の高橋雅一さんは  
マラソン経験わずか2年  
で、大学陸上部員なども  
参加する「つくばマラソ  
ン」で優勝した。  
高校時代はゲーム研究  
会に所属。「運動は好き  
だったが、競技経験はバ  
スケ部に所属していた中  
学の時くらい」と話す。  
図書館勤務が始まってか  
ら、普段の  
運動は「階段  
の上り下りや  
自転車を使う  
程度」で走る  
習慣が全くなかった。  
4、5年前に、文部科  
学省関連職員による駅伝  
大会に助人として参加し  
たのがきっかけで、走る  
ことに興味を持った。そ

が行われる。「ポケットモ  
ンスター」のプロデュー  
サーを務め、現在は「株式  
会社ポケモン」代表取締役  
社長の石原恒和氏(83年芸  
術学研究科修了)の講演を  
予定している。  
その他、恒例の第一エリ  
ア食堂での懇親会や、バー  
チャリアリティ研究室な  
ど5つの研究室による最先  
端技術の展示を予定してい  
る。  
参加費は社会人9000  
円(事前70000円)、  
学生15000円(事  
前10000円)。展示  
は無料。問い合わせ  
029・852・8572  
(紫峰会)

無絃塾卒業公演  
新年27日、ノバホールで

津軽三味線俱樂部無絃塾  
の第10回卒業公演が、来年  
1月27日、ノバホールで開  
催される。  
無絃塾は津軽三味線家  
元・井坂斗絲幸を師に、津  
や「東京マラソン(選考  
会の部)」への出場資格  
も手に入れた。「オリ  
ンピック選手や実業団の選  
手には到底かなわないけ  
れど、一緒に走れること  
は嬉しい」と語る。  
高橋さん自身も、最初  
はまさかこんなに速くな  
れるとは思っていません  
た。急に記録が伸びたわ  
けではない。「マラソン  
は一つ壁を乗り越えろ  
と、またそのちょっと上  
に一つ壁が  
ある。その  
壁を地道に  
乗り越えて  
いったら、  
こまで来た。わずか  
2年間だが、理論をしっ  
かりと学び、練習を続け  
た成果が、今回の優勝に  
結びついた。  
つくばマラソンで、  
今年走ったマラソンの  
数はなんと8つ目とな  
る。6月には「サロマ湖  
100キロウルトラマラ  
ソン」に参加し、初めて  
の100キロマラソンを  
完走した。取材日は、つ  
くばマラソンから2週間  
経たない金曜日だったに  
もかわらず、高橋さん  
は「明後日ノルマルマ  
ソン走るんです」と言い  
ながら笑っていた。(本  
紙・小笹諒介II体育専門  
学群)

冬休み図書館

返却日は1月7—21日

附属図書館は12月27日か  
ら1月5日まで休館する。  
この冬季休業に伴い、貸出  
期間が変更される。  
12月3日から29日まで  
一般貸出と更新(休館中は  
ウェブからの更新)を受け  
た図書の貸出期間は通常  
より延長され、1月7—21  
日まで返却日が延びる。休  
館期間以外の開館時間と閉  
館時間は通常通り。  
図書館では返却期限を確  
認し、延滞のないよう、注  
意を呼びかけている。

冬休み宿舎

平砂浴場27—5日まで休業

冬季休業に伴い、宿舎の  
厚生施設の営業時間や営業  
日が一部変更される。  
◆平砂・追越浴場  
営業時間 午後5時—午後  
9時半  
休業日(平砂) 12月27日  
—1月5日(追越は無休)  
◆一の矢浴場  
営業時間 午前11時半—午  
後6時半  
休業日 12月29日—1月6  
日

新  
人記者急募

編集会議Ⅱ毎週月曜6時半から  
編集室Ⅱ共同研究棟A104  
(人文社会科学系棟横)  
連絡先: 029-853-6699

次号は

2月4日(月)

発行予定です

◇カワセミ◇



筑波実験植物園での朝、双  
眼鏡を片手に池の周りを歩い  
てみる。「チー、チー」  
と金属質の声をあげながら、  
水面すれすれを緑色に光る小  
さな鳥が飛んでいくのに気付  
く。「カワセミだ!」。思わず  
声を上げてしまうほどの美し  
さを持っている。  
カワセミはスズメよりも少  
し大きく、池に住む魚や水生  
昆虫を捕食する。泳がよけれ  
ばホバリングから水中にダイ  
ブして魚を捕る瞬間を見られ  
るかもしれない。鳥たちの営  
みを観察できるのも植物園の  
魅力の一つである。(写真・  
文Ⅱ河嶋隆司、生物3年 野  
生動物研究会)

催事

演奏会

◆ブロックフリー同好会  
定期演奏会  
2月9日、つくば市文化  
会館アルスホールで。午後  
1時半開場、午後2時開演。  
リコーダーによるアンサ  
ンブルで、曲目は新井満  
など。入場は無料。  
ホームページⅡhttp://  
www.stb.tsukuba.  
ac.jp/reorder/

カフェ

◆イングリッシュカフェ  
12月21日、1月22日の  
午後5時半から午後7時ま  
稲田3—27—4)で。

劇団公演

◆劇団筑波小劇場年末公演  
「傾き」ロー☆S。Sw  
eeeeet!  
12月28—30日、アートボ  
ックスホール(新宿区西早  
稲田3—27—4)で。  
tsukusho.tn.st/

大学会館書籍部ベストセラー

1	チーム・パチスタの栄光(上)	海堂尊/宝島社
2	ホームレス中学生	田村裕/ワニブックス
3	チーム・パチスタの栄光(下)	海堂尊/宝島社
4	エレガントな解答	矢野健太郎/筑摩書房
5	求めない	加島祥造/小学館
6	探偵ガリレオ	東野圭吾/文芸春秋
7	生物と無生物のあいだ	福岡伸一/講談社
8	中原の虹 第4巻	浅田次郎/講談社
9	君空 'koizora' another story	美嘉/スターツ出版
10	「1日30分」を続けなさい人生勝利の勉強法55	古市幸雄/マガジンハウス

12月の1位は海堂尊の  
「チーム・パチスタの栄光」。  
5位は加島祥造の「求め  
ない」。詩人、アメリカ文  
学者、墨彩画家、翻訳家な  
どさまざまな顔を持つ83歳  
の著者が、「ほんの3分で  
いい、求めないでいいん  
と私たちに語りかける。求  
めることに追い立てられ、  
強いられる時代を幸せに生  
きるための知恵を詩に込  
めた。(洋書新刊特価セ  
ル 1月下旬まで、洋品小  
物謝恩セール 12月下旬ま  
で)